

お知らせ
募集

相談

健康

公民館

施設
教育

スポーツ
文化

図書館

福祉

産業
振興

子育て

地域
活動

ごみ・資源

観光あるき

～ 無料ガイドツアー ～



「観光あるき」とは、阪急沿線の観光スポットを巡るウォーキングイベントです。摂津市を含む阪急沿線の16の自治体と阪急電鉄株式会社が、地域の魅力を再発見できるコースを設定しています。

以下の日程で、案内人による無料ガイドツアーを開催します。※天候などにより中止またはコース内容を変更する場合があります

日時 10月4日(水) 午前9時半～午後1時ごろ
コース 阪急正雀駅→阪急電鉄正雀工場→明和池公園→須佐之男命神社→金剛院→流れの馬場跡→阪急摂津市駅 ※弁当不要

定員 20人
申込み 9月15日(金)までに産業振興課へ(☎可・先着)
※健幸マイレージ対象

◆ 摂津市障がい者 就職フェア

全9社(予定)による求人企業との個別面接会や職場でのお悩み相談を実施します。



日時 9月14日(水)午後1時～4時
場所 コミュニティプラザ・コンベンションホール

※企業との面接希望者は事前にハローワーク茨木で登録・予約要
※求人は同ハローワークホームページで公開予定

問合せ 産業振興課または同ハローワーク
☎ 072 (623) 2551
(部門コード# 42) へ

セッピイの 突撃訪問!

ちっちゃな摂津の、
でっかな産業野望

企業編

～ 「伝統工芸の魅力」 ～

問合せ 産業振興課へ

鳥飼野々で伝統工芸「大阪欄間」を製作している「木下らんま店」。約60年同じ場所で事業を行っています。今回は、木下らんま店の代表木下文男さんにお話を伺いました。



■ どういったお仕事をされていますか？

彫刻欄間が専門分野ですが、社・寺彫刻も行っています。建築会社や家を建てる人から仕事をを受け、資材調達やデザイン作成、彫刻まで一人で行っています。欄間は引き立て役だと考えているので、部屋の雰囲気邪魔しないよう心がけています。

■ 大阪欄間って？

大阪欄間は、江戸時代から部屋を引き立てるものとして使われてきました。元々は特権階級の部屋で使用するものでしたが、徐々に一般家屋にも取り入れられるようになりました。大阪では欄間を入れる家屋が多くあったため、職人も多く存在し、大阪の伝統工芸として繁栄してきました。

■ お仕事で「楽しい」瞬間は？

ものづくりが好きで、自分の作ったものが形とし



て残ることが嬉しいです。デザインを考えている時間が好きで、日常生活の中でも思いついたら忘れないようにメモしています。彫刻もその時の環境、自分の気持ちがそのまま味として出ると思っています。数え切れないほど作品を作りましたが、満足したことはありません。満足してしまうと成長しなくなるので、今後も勉強しながら成長していくことが楽しみです。

■ 今後、思うことは？

近年、欄間の需要は減少していますが、もう一度欄間が注目される日がくると信じています。その時までに後継者の育成もしなければいけません。私だけでなく、大阪欄間工芸協同組合で協力しながら伝統工芸を繁栄させていきたいです。

過去の突撃訪問はこちら♪

